

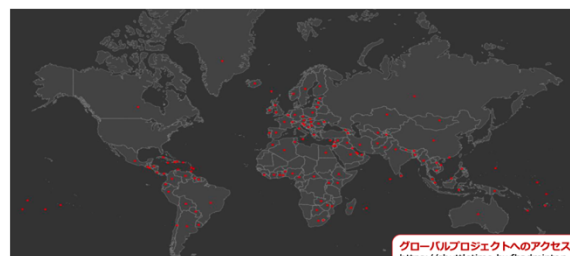
Shuttle Time について

背景と課題

日本のバドミントン界は Badminton World Federation (BWF) が推進する国際的な指導・普及の枠組みとの連携において、これまで必ずしも十分な関与がなされてきたとは言い難い状況にありました。

現在 BWF が取り組んでいる「Shuttle Time」は、学校教育および普及段階において、安全かつ楽しく指導できる人材を育成することを目的とした教育プログラムであり、すでに世界 160 か国以上で導入されています。

世界中どこでも



BWF シャトルタイムグローバルプロジェクト

国際的に高い競技力を有する日本のバドミントン界においても、BWF が推進するこの取り組みと連携し、バドミントンを「誰もが参加できる世界を代表するスポーツ」として発展させていくための取り組みを、国内においても一層推進していくことが求められています。

ビジョンについて

Shuttle Time が掲げる理念—「すべての子どもに一生楽しめるスポーツとしてのバドミントンを届ける」—を尊重し、こうした世界的動向と連動した取り組みを日本国内においても推進していきます。

この取り組みは、日本バドミントン協会（BAJ）が掲げる Our Purpose 「スポーツを通じて『こころ躍る・豊かな』世界を創る。老若男女、世界を目指すアスリートや初心者、競技を支える人、仲間と楽しみたい人…すべての人と街や地域の元気や活力を生み出す。」の実現にも資するものとなります。

我々の具体的な取り組み

1. 情報発信・周知

日本バドミントン指導者連盟および日本バドミントン協会（BAJ）の公式ホームページにおいて、Shuttle Time に関する情報提供を行い、関係各方面への周知・徹底を図ります。

2. プログラム実施者の養成

日本国内における BWF 公認 Shuttle Time の展開に向け、プログラムを実施するための公認指導者（「Tutor」および「Teacher」）の養成講習会を開催します。

3. 上記活動についての報告と分析

実施した Shuttle Time について活動報告および効果を分析し、日本バドミントン協会へ報告をします。

1. BWF Shuttle Time とは？

BWF シャトルタイムのビジョン

バドミントンを学校で一番人気のあるのスポーツに



Shuttle Time は、バドミントンを通して「楽しさ・達成感・健康・つながり」を子どもたちに届けるために、BWF（世界バドミントン連盟）が開発した世界的な教育プログラム。

最大の特徴は、専門知識がなくても、誰でも質の高い授業を実施できるよう教材が整っている点。

モットー：Giving Every Child the Chance to Play for Life

（すべての子どもに一生楽しめるスポーツとしてのバドミントンを）

2. Shuttle Time の目的

1. 子どもに安全で楽しいバドミントン体験を提供する
 - ゲーム性のある活動を通じてポジティブな印象を育てる。
 2. 教師を支援し、教えやすい環境をつくる
 - マニュアル・レスンプラン・動画などの教材を提供。
 3. 成功体験を得られる環境づくり
 - あらゆるレベルの子どもが「できた！」を感じられる設計。
 4. 体育授業の質向上に貢献する
 - 運動能力・協調性・体力向上にも寄与。
-

3. プログラム構成（教材）

● 主な教材

- Teachers' Manual（教師用マニュアル）
10 モジュール構成で、基礎から授業づくりまでサポート。
- 22 のレスンプラン
ステップ順に構成された授業案。
- 92 本の動画クリップ
技術説明やアクティビティの進め方を視覚で理解。
- Shuttle Time アプリ（19 言語対応）
レスンプラン、動画、スコアボード、ドロー作成機能などを搭載。

<https://youtu.be/BkYeLf4gpVc?si=rRz1MMCISFrvu923>

<https://youtu.be/BkYeLf4gpVc?si=rRz1MMCISFrvu923>

(日本語サブタイトル有り)

4. 授業（レッスン）の特徴

1. 楽しく・簡単に・誰でもできる活動
 2. 基礎技術を段階的に習得できる
 3. 教師が無理なく進められる設計
 4. インクルーシブ（誰でも参加可能）
-

5. Shuttle Time Teacher（ティーチャー）

● 役割 学校や地域での授業・活動を実際に担当する指導者。

● 資格要件

1. オンライン理論（Online Component）受講
2. 対面 Practical Course（1 日）受講
 - グループ管理／基本技術／レスンプラン実践など
 - ＊必ず Shuttle Time Tutor が実施

● 修了後 BWF が発行する 国際 Teacher 認定証を取得。

6. Shuttle Time Tutor（チューター）

● 役割 Teacher を育成する指導者の指導者。 国内普及の中心的役割を担う。

● 資格要件

(各国協会及び認定団体＊が実施する研修により認定)

- ・ 指導法・コーチング理論の高度研修
- ・ 教材（マニュアル・レッスン・動画）の完全理解
- ・ 評価・フィードバック能力
- ・ チューター受講希望者は履歴書（日英）を事前に提出し BWF に提出する

● Teacher & Tutor の違い（まとめ）

項目	Teacher	Tutor
主な役割	子どもに教える	Teacher を育成する
コース内容	基本指導法・基礎技術	指導法＋評価・研修運営
対象	部活顧問・一般教員・体育教員・コーチなど (バドミントン経験なしでも取得可)	指導経験者・地方協会関係者など
実施者	Tutor が担当＊初回は BWF よりトレーナーを派遣	初回は BWF よりトレーナーを派遣
修了後	BWF Teacher 認定	Shuttle Time Tutor 認定

7. 養成講習会について

- ・ 講習会の目的：
- ・ 主 催：日本バドミントン指導者連盟（日本バドミントン協会認定）
- ・ 対 象：上記の通り

<Tutor 養成>

- ・ 期 日：2026年8月4日（火）～8月6日（木） ＊6日は別途対応あり
- ・ 時 間：9:00～17:00
- ・ 会 場：筑波大学
- ・ 実施要項：別紙のとおり

<Teacher 養成>

- ・ 期 日：2026年8月6日（木）
- ・ 時 間：9:00～17:00
- ・ 会 場：筑波大学
- ・ 実施要項：別紙のとおり